

記入例

【別添5】

国有林材の安定供給システム申請書

令和〇〇年〇月〇〇日

中部森林管理局長 殿

住所 〇〇県〇〇市〇-〇-〇
商号又は名称 〇〇株式会社
代表者氏名 〇〇 〇〇
電話番号 〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
F A X 〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
担当者氏名 〇〇 〇〇
メールアドレス x x x x @ 〇〇〇〇

注)共同で買受けを希望する者については、それぞれ住所、商号又は名称、代表者氏名、担当者氏名及びメールアドレスを記載し、そのうち共同買受の代表者については、商号の前に(代表者)と明記する。

令和〇年〇月〇〇日付けの公告による国有林材の安定供給システムによる販売について、林産物の買受に係る協定の締結を希望するので、必要書類を添付のうえ、申請します。

1 買受希望数量・時期等

単位:m³

森林管理署等	物件番号	主要樹種	令和〇年度	令和〇年度~〇年度
〇〇森林管理署	1	カラマツ	1,000	
	3	ヒノキ	500	2,000

注)1 署等別に複数の物件をまとめて申請可能です。

企画提案書は物件ごとに作成し、申請書に添付してください。

2 複数の署等を含む物件は、どちらか一方の署等へ提出してください。

2 添付書類

- (1) 直近の事業年度に係る貸借対照表及び損益計算書。
- (2) 納税証明書(国税通則法施行規則(昭和37年大蔵省令第28号)別紙9号書式その3又はその3の2若しくはその3の3)の写し。
- (3) 社会保険の加入を証する書類(任意様式で、従業員数、加入者数、適用除外者数がわかるもの)。
- (4) 保有する資格を証する書類(林産物売払い一般競争参加資格、JAS 認定、森林認証等)。複数の者による共同申し込みの場合は、代表者がまとめて提出する。
- (5) 取引数量等が明記された出荷先との取引協定書の写し。
協定内容が国有林材のシステム販売に限定している場合は、数量の記載がなくても結構です。
- (6) (様式2)「国有林材の安定供給システムに係る企画提案書」を物件別に作成。
- (7) (様式2)「国有林材の安定供給システムに係る企画提案書」の(別添)添付書類。
- (8) (様式4)「価格点-別紙「購入希望単価等」
注) 複数の者による共同申し込みの場合は、それぞれ(1)から(4)の添付書類を提出する。

3 事業内容(申請時前年度実績)

システム販売に係る実績だけでなく、申請時前年度における自社の全実績を対象として記載する。

(1) 素材生産実績

単位: m³

	国有林				民有林				合計
	国有林から直接請負	製材業者等からの請負	立木購入	計	森林所有者から直接請負	製材業者等からの請負	立木購入	計	
主伐	製品販売物件のため省略								
間伐									
計									

- 注) 1 共同事業体を結成した場合、及び素材生産を実施するものが企業合同又は協同組合に改組した場合は、個々の素材生産を実施するものの実績を過去の実績として認める。
- 2 申請する森林管理局管外における実績については()外書きで記載する。
- 3 材積は素材材積とする。
- 4 民有林欄は国有林以外とし、自社山林に係る生産量は立木購入欄に記載する。
- 5 共同で買受けを希望する者については、素材生産を実施するものについて記載する。

(2) 原木取扱実績

樹材種	納入先	数量(m ³)	備考
カラマツ	〇〇合板(株)	300	
カラマツ	(株)△△建設	200	
カラマツ	◇◇木材(資)	400	
ヒノキ	(有)□□木工	200	
ヒノキ	××製材(株)	300	

- 注) 1 共同で買受けを希望する者については、原木市場等に関して記載する。
- 2 納入先が多数ある場合は、納入数量上位5者程度について記載し、それ以外の者については「その他」としてまとめて記載する。

(3) 製材実績

ア 原木(又は製材品)の入荷量、消費量(出荷量)、在庫量

区 分		数 量(m ³)
年度当初在庫量		500
当 年 度 入 荷 量	国有林材	1,500
	その他国産材	1,000
	外材	
	計	2,500
当年度消費量 (当年度出荷量)		1,500
年度末在庫量		1,000

注) 1 共同で買受けを希望する者については、製材工場等に関して記載する。

2 原木と製材品の両方を取り扱っている場合は区分して記載する。

イ 主製材品生産量、販売量、在庫量

区 分	製材品名 (合板用材)	製材品名 (建築用材)
	数 量(m ³)	数 量(m ³)
当初在庫量	500	300
当年度生産量	1,000	500
当年度販売量	800	400
当年度企業内消費		
年度末在庫量	200	100

注) 1 共同で買受けを希望する者については、製材工場等に関して記載する。

2 製材品で購入したものは()外書きとする。

ウ 製材品販売の種類別内訳量、主な出荷先及び売上高

種 類	数 量(m ³)	主な出荷先	売上高(円)
合板用材	800	〇〇合板(株)	400,000,000
建築用材	400	(有)〇〇木工	200,000,000
計	1,200		600,000,000

注) 1 共同で買受けを希望する者については、製材工場等に関して記載する。

2 他の業種へ販売した場合は、主な出荷先欄に業種を記載する。

(4)最終製品製造実績

ア 製材品の入荷量、消費量(出荷量)、在庫量

区 分	数 量(m ³)
年度当初在庫量	5,000
当年度入荷量	0
当年度消費量	15,000
(当年度出荷量)	20,000
年度末在庫量	5,000

注)共同で買受けを希望する者については、製材品需要者に関して記載する。

イ 主製品生産量、販売量、在庫量

区 分	製材品名 (合板用材)	製材品名 (建築用材)
	数 量(m ³)	数 量(m ³)
当初在庫量	500	600
当年度生産量	10,000	15,000
当年度販売量	10,000	12,000
当年度企業内消費	12,000	5,000
年度末在庫量	400	600

注)1 共同で買受けを希望する者については、製材品需要者に関して記載する。

2 単位は記載内容に応じて変更して差し支えない。

ウ 製品の種類別販売内訳量、主な出荷先及び売上高

種 類	数 量(m ³)	主な出荷先	売上高(円)
スギ	10,000	〇〇木材	360,000,000
ヒノキ	20,000	△△木材	1,000,000,000
計	30,000		1,360,000,000

注)1 共同で買受けを希望する者については、製材品需要者に関して記載する。

2 単位は記載内容に応じて変更して差し支えない。